

川口 の 教 育



【 川口市立新郷東小学校 ～心温まる1年生を迎える会～ 】

第 6 6 0 号

【目 次】

校長会長のあいさつ	市立校長会長（川口市立本町小学校長）	高宮 明洋 (2)
	中学校長会長（川口市立神根中学校長）	松村 一人 (2)
	川口市立高等学校長	吉野 浩一 (3)
	幼稚園長会長（川口市立舟戸幼稚園長）	須山恵美子 (3)
教育ルポ ～芝西中学校陽春分校新校舎落成式の様子から～		 (4・5)
令和6年度 川口市立学校（園）研究テーマ一覧		 (6)

5 月号
—令和6年—

編集・発行 川 口 市 教 育 委 員 会

◆校長会長のあいさつ◆

「持続可能な魅力ある学校づくり」を目指して

川口市立校長会長 高宮 明洋
(川口市立本町小学校 校長)



昨年の今頃は、ちょうど新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類相当から5類に引き下げられ、「数年ぶりにマスクなしの生活が戻ってくる」と世の中に明るい兆しが見えてきた時期でした。

その後、学校においては、単純にコロナ前の状況に戻すのではなく、コロナ禍で得られた新たなノウハウも生かしながら、学校運営にあたっています。それは、近年、学校の重要課題として教員の働き方改革がクローズアップされ、変革が迫られていたことも関連しています。コロナ禍があったからこそ、ICTの活用による業務の効率化や学校行事等の精選などが一気に進んだという側面もあると思います。

文部科学省は、学校における働き方改革の目的について、「教師の業務負担の軽減を図り、限られた時間の中で、(中略)自らの授業を磨くとともに日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、教師の人間性や創造性を高め、児童生徒等に対して効果的な教育活動を持続的に行うことができる状況を作り出す」と述べています。

働き方改革は、教師という職業の魅力を高め、子供たちのために生き生きと働く教職員集団を形成するために必要不可欠なことです。

ただ、もう一つ先を言えば、これは教師の働き方という単眼的な要素だけではなく、学校教育の、大きくは日本の教育の発展または衰退に関わる重要な問題とも言えるのではと思っています。

私は、この文部科学省が述べている本来の目的を鑑み、今取り組んでいることは、「働き方」という側面から、様々な業務改善に基づく「学校の構造改革」を推進しているものであり、どの学校も「持続可能な魅力ある学校づくり」を目指しているのではないかと思います。そして、「持続可能な魅力ある学校」とは、「子供たちにとって学び続けたい学校」、そして「教職員にとって働き続けたい学校」であると捉えています。

本市には82もの市立小・中・高・幼稚園があり、井上教育長は、よく「スケールメリットを生かして」という話をされます。校長会においても、互いに情報共有や情報発信を積極的に行い、持続可能な魅力ある川口の教育の実現に向け尽力してまいります。

「矛盾の解決」

川口市立中学校長会長 松村 一人
(川口市立神根中学校 校長)



待ちに待った今年の桜は始業式・入学式の日に満開を迎え、子どもたちの笑顔は一段と輝いていました。教職員の皆様におかれましても、やる気と希望、今年度への意気込みを心に秘めていたのではないのでしょうか。その「笑顔・やる気・希望」の

灯火がこれからもずっと継続していくこと、そしてそれが「充実感・満足感」へとつながっていくことが大切であると私は考えます。

さて、そのような学校教育の充実には何が必要なのでしょう？そこには相反する2つの根本的な矛盾が潜んでいるように思うのです。それは「豊かな教育」と「働き方改革」との間にある大きな隔たりです。

「豊かな教育」の視点からすれば、時間をかけて納得がいくまで教材研究をしたり、子どもたちの提出物を丁寧に添削してコメントを書いたり、部活動では繰り返しその技術が身につくまで指導を重ねていく…などの成果は非常に大きなものになり得ます。保護者からの信頼も大きく深まることでしょう。このように子どもたちの成長のためには、やらないよりやった方がよいことは無限にあります。

一方、「働き方改革」の視点からすれば、やろうと思うことをできる限り精力的に時間をかけてやればやるほど、当然、勤務時間は増えます。心身は疲弊し、授業の組立てや工夫は中途半端に終わり、また、自分の時間(家族との何気ない会話、旅をしてリフレッシュする、本との出会い等)も削減されます。その結果、授業準備には十分に力を注げず、自分自身の内面を充実させる時間も産み出せなくなり、何より一番大切な子どもと向き合う時間までもが削られてしまうのです。

この矛盾、どう解決したら良いのでしょうか？

私は「選択(削減)と集中」だと考えます。「豊かな教育」に効果がないものはほとんどありません。それぞれいろいろな効果があります。でもゼロベースに立ち戻って、あまり効果が期待できないもの、また、同じ効果が予想されるものを選択し、それらを削減(スクラップ)してみるのはどうでしょうか？

今年度本校では、1学期の中間テストを実施しない教科があります。「当たり前を疑い、何かを削減してみて、大事な教育活動には集中して全力を尽くす」ことが新たな時代を創る第一歩となるでしょう。

**一生懸命を楽しみ、力を伸ばす進学校「川口市立」
川口市立高等学校 校長 吉野 浩一**



川口市立高等学校は、輝かしい歴史と伝統を持つ三つの市立高等学校（川口総合高等学校、川口高等学校、県陽高等学校）を統合し、新たな学校として平成30年に開校いたしました。今年度初めて高校進学となった令和3年度に開校した附属中学校からの内部進学生を含めた全日制の課程と定時制の課程の生徒約1500人が令和6年度の高校生活をスタートさせました。

学校は楽しい学びの場所でなければならないと私は考えています。勉強や部活動、学校行事に一生懸命に取り組む楽しさを感じながら自分自身を高めつつ、仲間と支え合い、励まし合い、時には競い合いながら、輝く未来に向かって現在の自分を磨き上げていく、学校はそういった場所であるべきだと思います。

本校の生徒には、すべての教育活動を大切にする中で、学力だけでなく自身の魅力を高めながら、国公立大学、私立大学、専門学校、就職等どこにでも進める力を身につけた上で自分の行きたい進路を実現させてほしい、学校として生徒をしっかりと支え、励ましながら、高い志を育てていくつもりです。

そして、本校のすべての生徒が「川口市立」に入学してよかったと思える学校となるよう、また本校が多くの中学生のあこがれの学校となるよう、校長として以下の方針を掲げ、取り組んでまいりたいと存じます。

「校長の学校運営方針」

- 1 すべての生徒の学力・能力を伸ばす。
- 2 「ほめて育てる」（認め、励まし、支える）教育を推進する。
- 3 生徒たちにさまざまなチャレンジを期待し、その活躍を発信する。
- 4 すべての生徒に「川口市立」の自信と誇りを持たせ、「頑張り続ける力」を育てる。
- 5 「川口市立」の伝統を紡ぎ、本校教育の素晴らしさを継承・発展させる。
- 6 生徒及び教職員の安心・安全を徹底する。

「校長が生徒に期待する行動指針」

- 1 やってはいけないことはやらない。
- 2 やらなければならないことはやる。
- 3 やってもやらなくてもどちらでもよいことであっても誰かのためになることはやろうと努める。

**◆校長会長のあいさつ◆
「幼児教育の充実に向けて」
川口市立幼稚園長会長 須山 恵美子
（川口市立舟戸幼稚園 園長）**



令和6年度がスタートしました。本年度は川口市立幼稚園である舟戸幼稚園、南平幼稚園2園の総園児数は81名です。令和3年度より3歳児の受け入れをはじめ、3年保育4年目となりました。3年間の質の高い保育に努め、選ばれる魅力ある公立幼稚園を目指してまいります。

そのために、文部科学省の示す「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」及び埼玉県教育委員会の「子育ての目安『3つのめばえ』」を起点として幼児の心身の発達に即した適切な指導に努めてまいります。

幼児期は、家庭において親しい人間関係を軸に営まれていた生活からより広い世界に目を向け始め、生活の場や他者との関係、周囲のものに対する興味や関心が一層広がり、自立への一步を踏み出します。幼稚園はいろいろな遊びを通して、家庭だけでは体験できない社会・文化・自然などに触れ、教師に支えられながら幼児期の世界の豊かさに出会う大切な場です。

そこで2園では幼稚園教育研究協議会を組織し、保育実践事例をもとに研究協議を行うなど教員の資質向上に努めています。令和5年度は、「感じて 考えて 表現する幼児の育成」を研究主題とし、幼児が心を動かし、表現を楽しむための環境構成や教師の援助の在り方について、特に造形や音楽に視点を当てて保育を実際に見合って意見を交換し、磨き合うなど実践的な研究に取り組みました。さらに、夏季研修会では、講師の方より「感じて、考えて、表現する幼児の育成」と題してご指導をいただきました。3年保育を進める上での大きな指針となりました。

3年間の保育を経て、進学する折には幼稚園教育と小学校教育の滑らかな接続が図れるように、小学校の教員との意見交換や合同の研究会、保育や授業を見合うことで「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を進めていきます。

本年度も2園の教職員一同が次世代を担うたくましさとしなやかさをそなえた川口の子どものための育成のために全力で3年保育に取り組んでまいります。川口市教育委員会をはじめとする関係者の皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



芝西中学校陽春分校 新校舎落成式 令和6年4月19日

新校舎落成記念式次第

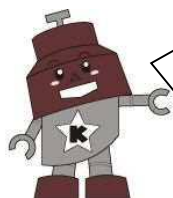
日時：令和6年4月19日

式場：川口市立芝西中学校陽春分校

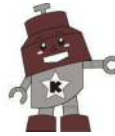
1階多目的ホール

開式：午後5時00分

- 1 開式のことば
- 2 国歌斉唱
- 3 市民歌斉唱
- 4 市長あいさつ
- 5 教育長あいさつ
- 6 来賓祝辞 川口市議会議長
- 7 来賓紹介
- 8 テープカット
- 9 学校長謝辞
- 10 生徒代表の言葉
- 11 校歌斉唱
- 12 閉式のことば



芝西中学校陽春分校の新校舎が完成し、落成式が盛大に開催されました。陽春分校は、平成31年4月に開校した埼玉県初の公立夜間中学です。年齢や住まい、国籍など多くの垣根を取り払い、学びたいという意欲を持った人であれば誰でも安心して通うことができる学校です。生徒一人一人が、自分の夢を実現できるよう応援しています。



川口市マスコット「きゅぼらん」

教育ルポ



芝西中学校 校歌

作詞 松本旭也
作曲 折山俊也

一、さくらの花の かがやきに
そよ風ゆれて 時は春
学びの道の 書を読めが
教室の隅まで 声とおる
心 からだも 健やかに
真理もとめる いとなみを
今日も続けて とに進もう
芝西中の われら われら

二、青空たくく 白さぎの
ゆたかに舞って 時は秋
光る手挙げて 君よべば
校庭の隅まで 声とおる
心 からだも さわやかに
真実みちる いとなみを
明日へ続けて とに進もう
芝西中の われら われら

令和6年度 川口市立学校(園) 研究テーマ一覧

小学校

本 町	自分の考えを深め、豊かに表現する児童の育成
幸 町	自分の考えをもち、他者との関わりの中で学びを深める授業づくり ～主体的に考え、関わり合いの中で考えを深める児童の育成～
仲 町	認め合い、学び合える仲小っ子の育成 ～思考力・判断力・表現力を育む学習指導と評価～
上 青 木	いきいきと対話・交流する児童の育成 ～GIGAスクール端末の効果的な活用による授業実践～
元 郷	学ぶことの楽しさを味わい、粘り強く学習する児童の育成
飯 塚	自分の考えを明確にし、書く力を高め、進んで思いを伝えられる児童の育成
芝	「よく学ぶ子の育成」 ～特別活動を基盤に、教科特性を生かした指導の充実を目指して～
新 郷	1人1人に居場所がある学級づくり
神 根	学び合い、互いに高め合う児童の育成 ～学びの共同体の授業実践の充実を通して～
青 木 北	一人一人の個性の伸長を目指した教育 ～学んだこと・身に付けたことを活用して問題を解決する児童の育成～
領 家	自ら学びを発動させ、共に学びあう児童の育成
舟 戸	学びをつなげ 夢をはぐくみ 未来を拓く 連携教育の推進 ～多様性を尊重した関わりの中で主体的に学び続ける子どもたちの育成を目指して～
十二月田	他者と共によりよく生き 自ら考える しわすだっ子の育成 ～自己指導能力の向上を目指して～
飯 仲	話し合いや活動を通して自己肯定感を高め、 学校生活を自らより良く創造できる児童の育成
並 木	「学びたい！」を引き出す指導法の研究 ～健全な自己肯定感を育む教育を通して～
安 行	見つけ 広げ 深める算数科の授業実践
原 町	自ら学び、共に学び合う児童の育成 ～個に応じた指導の充実と探求的な学習活動の充実 によるすべての児童に居場所のある授業づくり～
前 川	「考え、学び合い、創造し、学びを深める児童の育成」 ～教科横断的な学びを通して、思考力、判断力、表現力を高め合える授業の創造～
戸 塚	主体的に学び、共に高め合う児童の育成 ～児童の思考でなされる授業・児童の思考がにつながる授業づくり～
青木中央	自ら考え、進んでかわろうとする児童の育成 ～well being を目指す非認知能力の育成～
元 郷 南	主体的に自信をもって学び合う子供の育成
芝 西	運動に親しみ、運動の楽しさを味わい続ける児童の育成 ～児童が運動の特性を味わい、進んで運動に取り組む体育授業の実践～
芝 南	確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ児童の育成
神 根 東	「自分の考えをもち、聴き合いながら学ぶ児童の育成」
朝 日 東	「小学校高学年における完全教科担任制」による、知徳体の調和のとれた児童の育成
芝 富 士	GRTTを伸ばす教育の実現 ～児童も教師も共に伸びゆく単元・授業構想の研究～
前 川 東	「自他の良さを認め合い、互いに高め合える児童の育成」 ～道徳・学級活動を軸とした非認知能力の育成～
柳 崎	いきいき学び合う子の育成 ～児童自らが学力の伸びを感じる授業の実践～
芝 樋ノ爪	主体的・対話的で深い学びの創造と個別最適な学び・協働的な学びの実現
新 郷 南	主体的・対話的で深い学び ～主体的に学びに向かう児童の育成～
上青木南	主体的に学びをつくることのできる児童の育成
根 岸	児童の学び合いを深める授業の探究 ～学びの共同体の実践～
芝 中 央	「進んで学び、思いや考えを伝え合う児童の育成」 ～どの子にも「わかる」「できる」「楽しい」が感じられる授業の創造～
新 郷 東	「友だちと学び合いながら、チャレンジしようとする児童の育成」 ～非認知能力の育成を中心に学力の向上を目指して～
朝 日 西	共に学び合い、生き生きと主体的に学習する児童の育成 ～楽しく基礎基本を身に付け、「できる！」「わかる！」をもとに自分で考える算数を目指して～
慈 林	自分の思いや考えを生き生きと伝え合い、新たな学びを創造する国語科学習
差 間	自ら学ぶ児童の育成 ～自分の力を高めるために 自分で学習を考える児童～
東 本 郷	よりよい人間関係を築き、自他のよさを生かす学級づくり ～学級活動を通して、互いのよさを認め合う児童の育成～
東 領 家	主体的に学習に取り組み、やり抜こうとする児童の育成 ～思いやり、考える学習活動の工夫を通して～
安 行 東	自尊感情を育む学級経営の工夫 ～豊かな言語活動による国語科授業の実践を通して～
在 家	共に学び合い確かな学力を身に付ける児童の育成
戸 塚 東	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の工夫改善
戸 塚 北	GIGAスクール端末を活用した主体的に学ぶ児童の育成
木 曾 呂	主体的・対話的で深い学びの創造

戸塚綾瀬	正確に理解し、適切に表現する資質・能力の育成
戸 塚 南	「人と関わりながら、よりよく生きる力を身につけた児童の育成」
鳩 ケ 谷	学びを楽しみ、地域の宝として育む9か年教育 ～小中学校9年間を見通した仲間・学び・生活のつながり～
中 居	自分の考えをもち、表現できる児童の育成
辻	「わかる楽しさを味わえる授業づくり」 ～見方・考え方を働かせる算数科の授業～
里	「わかった、できた、楽しい」があふれる教室を創り出す学校
桜 町	学びを楽しみ、地域の宝として育む9か年教育 ～小中学校9年間のゴールを見据えた鳩ヶ谷中学校区の取組～
南鳩ヶ谷	自分の思いや願いを豊かに表現し、つくりだす喜びを感じられる児童の育成

中学校

東	確かな学力の育成 ～聞かせる指導力の向上、聞く力の育成～
西	不登校、いじめの未然防止、支援率・支援継続率100%を目指す学級・学年経営 ～学力向上と学習環境の充実～
南	学びをつなげ 夢をはぐくみ 未来を拓く 連携教育の推進 ～多様性を尊重した関わりの中で主体的に学び続ける子どもたちの育成を目指して～
北	学びの共同体の構想と実践 ～探求と協同の学びの創造～
青 木	生徒の学力向上と不登校支援の充実
芝	GIGA端末の更なる活用を進め、「主体的・対話的で深い学び」を実現する
元 郷	「学力向上に結びつく学習活動の工夫」 ～待つ姿勢と粘り強い指導～
上 青 木	考える力を育む ～自分の力でPDCAを行う力の育成～
幸 並	生徒一人ひとりの学びの充実を目指して～個別最適で協働的な学びの推進～
十二月田	誰もがわかる、できる授業 生徒目線で教え、考える授業の実践 ～「確かな学力」に繋げる基礎・基本の定着～
仲 町	「学びの共同体の構想と実践」 ～21世紀型の授業と学びの実現に向けて～
安 行	生徒の力を伸ばし、生きる力を育成する授業を目指して
芝 東	生徒が安心して学べる授業の実践 ～授業規律の構築と指示・発問の工夫～
芝 西	主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善 ～生徒がもっと知りたいと思える授業・学びが広がる授業～
芝陽春分校	多文化を生かした授業づくり ～生徒の持つ背景(外国にルーツを持つ生徒)を活かして学び あいを大切にしたい授業の充実～
岸 川	主体的・対話的に学習に取り組む生徒の育成 ～ICT機器を活用した個別最適な学びと協働的な学びの実現～
榛 松	主体的・対話的に学びあう生徒の育成 ～「気づく」「考える」「深める」学習活動の展開を通して～
小 谷 場	「個別支援が必要な生徒へのチーム学校としての実践」
神 根	「学びの共同体」の創生に向けて — ジャンプ課題を取入れた授業デザインの工夫 —
領 家	伝え合い、認め合い、高め合う生徒の育成 (一人一人が互いに支援し合う関係の構築)
戸 塚	社会で生きて働く力の育成 ～非認知能力の向上を通して～
在 家	学びの共同体による主体的・対話的で深い学びの実践 ～共に学び合い、伝え合う授業づくりを通して～
安 行 東	自ら課題を発見し、主体的・対話的に学ぶ生徒の育成 ～学び方を学ぶ活動を通して～
戸 塚 西	気づき、考え、実践する生徒の育成 ～適切なICTの活用を通して～
鳩 ケ 谷	地域の宝としての9か年教育 ～切れ目のない指導の展開～
八 幡 木	生き生きと輝く対話を生み出す道徳授業 ～「二分法・本質的な問い」のある授業を踏まえて～
里	1人1台端末を活用した授業の質的な向上 ～確かな学力の育成を目指して～
川口市立 高校附属	「未来を創る、しなやかでたくましい人材の育成」 ～特色ある教育課程による中高一貫教育の研究～

高等学校

川口市立 高 校	「主体的・対話的で深い学びを実現する授業実践」の研究 ～ICT・AIを活用した授業の開発～
川口市立高校 (定 時 制)	「生徒の進路実現に向けたキャリア教育」の研究

幼稚園

舟 戸	学びをつなげ 夢をはぐくみ 未来を拓く 連携教育の推進 ～多様性を尊重した関わりの中で主体的に学び続ける子どもたちの育成を目指して～
南 平	友達と過ごす楽しさを味わい、友達との関わりを深める